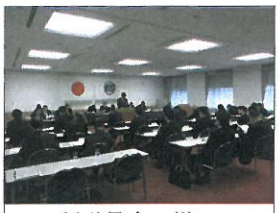

芦立訓氏を迎えて教育講演会開催！

二月一日（日）、香川県教育文化研究所（香川教文研）と香川県小・中学校管理職員協議会（香管協）共催の平成二六年度教育講演会が約二〇〇名の参加をいただき、香川県教育会館ミューズホールにて開催された。

挨拶に立つ五所野尾所長

五所野尾恭一・香川県教育文化研究所所長の開会の挨拶の後、元香川県教育委員会義務教育課長、現在文部科学省大臣官房審議官（スポーツ・青少年局担当）・芦立訓氏をお迎えし「社会構造の変化と教育の在り方」と題し、ご講演いただいた。芦立氏は、平成四年から香川県教育委員会義務教育課長、平成七年からは総務課長として香川県の教育に四年間、御尽力いただき、これからの香川教育を語るのに適任の方であった。

芦立氏は、戦後の経験に基づいた思考力重視の教育から、サンフランシスコ平和条約締結時の知識を重視した教育への変遷について話された。「思考力・判断力を重視するのか知識重視でいくのかの議論がこれまでも繰り返されてきたこと」、また、「平成三二年度から実施される新学習指導要領についてどのような視点が必要なのか」についても、言及された。今回の議論の中で「全国学力・学力学習状況調査の結果をどのように生かしていけばよいのか」、「PISAの視点をどう生かしていくか」がポイントになっていることも紹介された。

講演される芦立氏

また、現在、日本の大学ではなく外国の大学や大学院へ進学しようとする学生の増加を例にあげ、「グローバル化の中でしっかり生きていくためにどのような教育をどのように行っていくのか」、「世界の中で自分で生きていける人間をどう作っていくのか」が課題であると話された。また、「人材の流動性が高くなり、グローバル化が進んでいくことが予測されるが、価値観が多様化し、複雑な環境の中で教育が行われていく。生活環境の変化や子供の貧困対策等についても忘れてはいけない。教育が学校で行われているということは、情報公開等の責任が発生する。」しかし、世の中がグローバル化すればするほど「不易に立脚して教育を行う」ことが大切であり、「やる気を持って仕事をする人材育成のために「一人一人がやる気になること」が大切であると力強く述べられた。

会場の様子

最後に、「香川の先生方も教育の『不易』の部分を大切にして頑張って欲しい」と激励をいただき講演を締めくくられた。

香教連
香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：地下　浩文

〒760-0004
高松市西宝町２丁目４番６０号
香川県教育会館６０２号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行　定価１部50円
（年間1,000円　送料とも）

会員の購読費は会費の中に含む

香教連は、平成二六年三月に結成四〇周年を迎えた子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

魂を揺さぶる感動の講演

香教連オープンセミナー開催

一月二四日（土）、高松国際ホテルにおいて、株式会社アビリティトレーニング代表取締役・木下晴弘氏を講師にお迎えし、香教連オープンセミナーを開催した。木下氏には「魂を揺さぶる、本気教育〜人を教え伸ばす力は『感動』にあった」というテーマでご講演いただいた。木下先生は内発的モチベーションと外発的モチベーションの二つのモチベーションの違いについてから講演を始められた。外発的モチベーションは一時的なものだが、内発的モチベーションは永続的なものであること。そして、目的がいかに大切かを子供たちに気づかせることが重要であると語られた。木下先生が保護者に「なぜ、お子さんに勉強して欲しいの」とたずね、その答えに対して「なぜ？」を繰り返していくと、最後にはどの保護者も「幸せになって欲しいから」という答えにたどり着く。さらに「幸せとはどんな状態ですか。」とたずねたら「健康で、ある程度お金があって、世の中の役に立ち、人から慕われて、みんなから感謝されて、愛する人に囲まれ、笑顔のあふれる人生を送ってくれれば・・・」と答える。つまり「感謝」と「お金」と「信頼」を得る人生が幸せな人生であると木下先生は考える。そこで、どうすれば幸せになるのかの五つの法則を紹介しながらご講演は進んでいった。

講演される木下先生

一つ目は「目的が変われば人生は変わる。」こと。目的は目標とは異なることを具体例を挙げて話された。二つ目は「人に与えたものは必ず自分に還る」こと。人に何か与え続けられる人は、人から感謝され尊敬される。三つ目は「存在承認が幸せの第一歩」になるということ。自分の存在そのものへの承認があって初めて、人は明確な目標を持つことができる。四つ目は『許し』と『感謝』は幸せを約束する」ということ。「聴く」ことは「聴す（ゆるす）」こと。また、感謝の3レベルとしてレベル①「何かをしてもらったときに『ありがとう』と思える心」、レベル②「あって当然と思っていることがえらに感謝できる心、レベル③「自分に降りかかる困難や災難、課題にさえ、感謝できる心」であり、感謝する心を持つことが大切であるということ。そして五つ目が「課題に向き合い続けることで成長が約束され人生は光り輝く」ことであった。「成功」の反対は「失敗」ではなく、「何も行動しないこと」と木下氏は話された。課題に対し挑戦し続ける勇気をもつこと。目標は先送りできても逃げ切れない、今ここで向き合うことが大切なことであると木下先生は締めくくった。木下先生の熱い講演により参加者はたくさんの「感動」をいただいた。

講演会場の様子

参加者の感想を以下に掲載する。

教師として「それはだめ。」「もう一度」「〜をしましょう。」ということばをよく使います。しかしそれが結局、子供たちのやる気を損なっているのだと気づきました。「いいよ。許します。」「ありがとう。」を口癖にして残り少ない教員生活を充実したものにしていければ幸いです。（小学校　女性）

本当にいい研修でした。自分自身の生き方を問うようでした。苦しい時にはいつも不平を言っていたのが反省です。苦しいときがあるから喜びもひとしおになる。与えていないものは返ってこないということがよく分かりました。これからの人生、自分がどれだけ周りの人に与えていけるかどうか分からないができる限り感謝の心を常に持ち続け死の瞬間に心から幸せだったと言えるようにしていきたいと思いました。（小学校　女性）

教師である以上に人間としての生き方について大いに反省しました。この年齢になると頭で分かっているつもりでも本当にハートで本気で自分の身についていないのだと痛感しました。他の喜びのため与え続けていくこと、自分の課題に目を背けず立ち向かっていくことを頭とハートで受け止めたいです。（中学校　男性）

誰かのため、私たちの場合は子供たちや保護者のために力いっぱいがんばること、それが役割であり、自分も相手も幸せになれるんだと改めて感じさせてくださいました。（小学校　男性）

メトロノーム

一月一〇日の人事対策委員会で集約した会員の先生方の異動希望要望を一月二三日に香川県教育委員会義務教育課と東部教育事務所、二八日に西部教育事務所で行った。香教連会員の方の希望は、理由等も含めすべて伝えた。また、各単組も東部教育事務所、西部教育事務所、各市町教育委員会へ個別の要望を行った▼二月九日には、県教委と人事交渉を行った。「希望を一〇〇%達成することは難しいが、先生方の事情を考慮し公正公平に人事異動を行う。」との回答を得た。（交渉の詳しい内容については人事交渉速報で紹介する）香教連は会員一人一人の声を確実に県教委や各市町教委に伝えている▼なぜ、香教連は、そこまでていねいな要望活動を行うのか。それは、すべて「香川の子どもたちのためになる」と考えているからである。会員個々の希望も、それは、自らが働きやすい環境で、子どもたちの教育に専念したいとの願いからのものと捉えている。私たちの仕事は、目の前に子どもがいてこそ成り立っているものであり、子どもたちのことを一番に考えず、何を一番に考えるのか▼一月末には福岡で、二月五日には和歌山で小学生が被害者となる事件が報道された。私は、このような報道に触れるたび、「子どもたちのために」ということばの重みを噛みしめ、自分は、目の前の子どもたちのために何ができるのかを改めて考えさせられる。

（じ）

香教連中央評議員会開催

二月一日（日）香川県教育会館会議室において、平成二六年度中央評議員会を第七回会長・事務局長会、第三回執行委員会と併せて開催した。中央評議員会は、定期大会に次ぐ議決機関であり、次年度の運動方針、年間行事を検討する大切な会議と位置づけられている。

はじめに、次年度体制について田岡直樹高学教会長が座長として説明を行った。続いて、平成二七年度運動方針案、年間行事日程案について事務局より説明があった。夏休みの短縮や土曜日に教育活動の在り方等について県内の現状を踏まえたものになるよう中央評議員、執行委員による討議が行われ、様々な意見を頂き、事務局案に修正が加えられた後、承認された。続いて、生命共済掛金ならびに香教連訴訟費用保険について、生命共済の継続及び運用状況等が承認された。その後、次年度の行事予定や各行事の主管単組ローテーションの確認が行われた。さらに、本年八月八日（土）、九日（日）にサンポートホール高松、JRホテルクレメント高松で開催される第三二回全日教連教育研究全国大会（香川大会）での役割分担案や、分科会・全体会・記念講演会等の説明が行われ、次年度の主な活動が承認された。

挨拶する地下委員長

中央評議員会の様子

全日教連第七二回評議員会開催

二月八日（日）、全日本教職員連盟第七二回評議員会が都市センターホテルで開催された。評議員会は、全日教連行事の中でも定期大会に次ぐ議決機関であり、重要な会議の一つである。香教連からは、地下委員長、上村副委員長、安本監査委員の三名が出席した。

評議員会では、香教連監査委員・安本薫教諭が議長を務め、平成二六年度の活動経過報告や成果、平成二七年度の活動方針、行事計画などの議案が審議された。審議の中で、来年度の運動方針等、全日教連活動に関わることだけでなく、「特別の教科道徳」や小学校における英語の教科化等、昨今の教育課題について、評議員から質問が相次いだ。全日教連は、これらの教育課題に対し、国の動向を見ながら、全日教連としての考え方をまとめ、提案していくとした。また、平成二八年八月六日（土）、七日（日）の両日、ホテル東日本宇都宮、栃木県教育会館大ホールを会場に第三三回全日教連教育研究全国大会が開催されることが決定した。最後に本年度をもって退任される全日教連役員が紹介され、その労をねぎらった。

挨拶する岩野全日教連委員長

議長を務める安本監査委員

評議員会の様子

大川教職員協議会四〇周年記念大会開催

二月六日（金）、一八時より、ベッセルおおちの湯会議室において、大川教職員協議会四〇周年記念大会が開催された。六車浩会長の挨拶の後、講師にNPO法人ラーフ理事長・毛利公一氏をお招きし、「首から上だけでも決して諦めない」という演題でご講演いただいた。学生時代棒高跳びで活躍し、体育教師をめざして渡米。しかし、事故により頸椎を損傷、首から上が動くのみになったが、「ピンチの時はチャンス」、「目標を口に出す」ことをキーワードに、常にチャレンジし続けている毛利氏のお話に参加者一同力を頂いた。

講演される毛利氏

高松市学校職員協議会四〇周年記念講演会開催

二月七日（土）、一四時より香川県教育会館会議室において高松市学校職員協議会結成四〇周年記念教育講演会が開催された。講師には、四国新聞社編集局次長・木原光治氏をお招きし、「マスコミとのつきあい方」という演題でご講演いただいた。参加者からは「自分自身を高められる面と学校での指導に生かせる面の両面でとてもためになる内容の話を聞くことができた。」、「新聞を作るのは人であるということを感じ取ることができた。」という感想を頂いた。

講演される木原氏

平成二八年度採用選考試験大綱発表

香川県教育委員会は、平成二七年一月、平成二八年度香川県公立学校教職員採用選考試験大綱を発表した。その内容は以下の通りである。（一部抜粋）

受付期間

持参・郵送
平成二七年五月二〇日（水）
～平成二七年六月三日（水）
インターネット
平成二七年五月二十日（水）
～平成二七年六月一日（月）
一七時まで

選考試験日

第一次選考試験
筆記試験等
七月一八日（土）～一九日（日）
面接試験
七月一九日（日）～二二日（水）
合格者発表
八月上旬（予定）

第二次選考試験
筆記試験
八月二二日（土）
面接試験等
八月二〇日（木）～二四日（月）
合格者発表
九月中旬（予定）

主な変更点

○出願資格の年齢要件の緩和
一般選考については四四歳以下
特別選考Ⅰについては五九歳以下

○特別選考Ⅰ⑤において、講師等の対象に「学校栄養職員」を追加。

○第二次選考試験の小論文の日程を第一日目実施から第三日目（土曜日）実施に変更。

○第一次選考試験の小学校及び特別支援学校小学部に対する筆記試験時間を六〇分から七五分に変更。

※小学校及び特別支援学校小学部志願者に対する専門教養の筆記試験に「外国語活動に関するもの」を出題する。

専従日記

一月

まだまだ寒い日が続いています。学年末や入学試験を控え、益々忙しい日々になりそうです。体調管理をしっかりとしましょう。

三日	全日教連訪華団出発（中華民国～七日）
五日	仕事始め　新年挨拶回り
八日	県教委専門部要望を聞く会（県庁）
一〇日	第六回会長事務局長会 第二回人事対策役員会（教育会館） 県民会議新春教育懇談会（銀星旅館）
一四日	親守詩普及委員会（東京）
一七日	教問審研究部会（～一八日）（全日教連事務所）
二三日	人事キャラバン（香川県教育委員会） （東部教育事務所）
二四日	香教連オープンセミナー（高松国際ホテル）
二五日	そうじに学ぶ会年次会（渕崎小）
二八日	人事キャラバン（西部教育事務所）

第9回講師部研修会案内

香教連では第９回講師部研修会を開催します。各学校で平成28年度採用選考試験の受験を考えておられる講師の方にお声かけください。

1　日時　平成27年３月７日（土）
　　9：30～12：00（受付９：00～）
2　会場　香川県教育会館２F第1、2会議室
3　内容　平成28年度採用試験に向けて
　　時事通信出版局　模試　等
4　費用　模試受験料　1,000円
※申込、お問い合わせは香教連事務局までお願いします